

ワクチンの種類と接種方法	生ワクチン(皮下に接種)	不活化ワクチン(筋肉内に接種)
接種回数と間隔	1回 他の生ワクチンを接種する場合 27日以上間隔をあける	2回 接種間隔は2か月以上あける ※医師が判断した場合、1か月まで短縮可能
接種条件	病気や治療によって、免疫機能の低下している方は接種できません	免疫機能の状態に関わらず接種可能
予防効果	1年後	6割程度
	5年後	4割程度
	10年後	—
主な副反応	頻度不明	アナフィラキシー(注)、 血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎
	70%以上	—
	30%以上	発赤*
	10%以上	そう痒感*、熱感*、腫脹*、疼痛*、硬結*
	1%以上	発疹、倦怠感

*ワクチンを接種した部位の症状 各社の添付文書、厚労省通知より作成